

よみ愛・読書のまち宣言

町で長年取り組んでいる読書推進事業をさらに推し進めるため、平成28年に「よみ愛・読書のまち」宣言をしました。この宣言とともに、誰もが生涯にわたり読書に親しみ、読み合う喜びを分かち合える、心豊かな「よみ愛・読書のまち」をめざします。

よみ愛・読書宣言全文はこちら▶▶▶



毎月23日は「よみ愛・読書の日」

毎月23日を「よみ愛・読書の日」と定め、読書や読み合いを楽しむ人が増えるように働きかけています。毎月23日は読書を楽しんでみませんか。

絵本作家 長野ヒデ子さんのイラストを使ったオリジナルトートバッグ販売中
内ポケットなし：1,000円
内ポケットあり：1,600円



図書館利用案内

各図書館の利用案内やイベントの情報を18ページに掲載しています。ホームページも随時更新していますのでご覧ください。

図書館ホームページはこちら▶▶▶



信頼される図書館でありたい

町の図書館は本に詳しい顔なじみの職員がいて安心感があると言われます。本を手渡し、情報を提供するだけでなく、親しみやすく信頼を持ってもらえるような図書館でありたいと思います。

「中高年の読書会—ビブリオバトル方式—」の日曜版や、子どもから高齢者まで参加する「よみ愛・読書の日ビブリオバトル(2/23(日・祝))」も開催します。こちらませひご参加ください。



三芳町立図書館 代田 知子館長



6月の日曜版ではお母さんの紹介本がチャンプ本に!



①10月6日(日)に行われた「オランダの絵本と音楽のひととき」。翻訳家・作家の野坂悦子氏(右)作のオランダを舞台にした絵本の読み聞かせと物語に合わせた、演奏家・作曲家の佐伯恵美氏(左)の演奏。②佐伯氏によるオランダ音楽のピアノ演奏。③野坂氏がオランダの文化を紹介。④「うさこちゃん」の絵本の読み聞かせ。⑤絵本に夢中の子どもたち。⑥オランダ音楽に合わせて手拍子する参加者。⑦野坂氏作の絵本をパネル展示。

読書で絆や愛情を育む
 えるからです。
 読み聞かせやビブリオバトルなどの事業で、読書から得た楽しさや面白さを分かち合うことは、絆や愛情を育むことにもつながります。多くの人が絆や愛情でつながった心豊かなまちをめざし、読書推進事業を行うことで「よみ愛・読書」のまちづくりをこれからも推し進めていきます。この秋は町の読書推進事業に参加して、大切な人と読書の喜びを共有してみませんか。■

図書館の読書推進事業

感動を共有できる場所

図書館の読書推進事業の特徴の一つはその質の高さにあります。良質な読書イベントを支える人々と、町が読書を推進する理由に迫ります。



【写真】図書館内で絵本を読み合う子どもと保護者。



図書館の読書推進事業はその質の高さが特徴です。ぐりぐらタイムやブックスタートなどで読み聞かせをしているのは研修を受けた職員とボランティア。本の魅力が伝わるように、読み方や子どもの様子に気を配って読んでいます。

読書推進事業は新たな学びを得る場でもあります。時には、絵本の作者や紙芝居の研究者などのスペシャリストを講師に迎え、事業を行っています。10月6日(日)に藤久保公民館で行われたのは「オランダの絵本と音楽のひととき」。オランダにゆかりのある2人の講師を迎え、オランダを舞台にした絵本の読み聞かせとピアノの演奏を楽しみました。

質の高い事業は多くの人の技術と知識に支えられています。

感動を共有できる場所

町が様々な読書推進事業を実施している理由は、読書の感動を仲間や家族と共有できる良質な事業に参加することで読書が好きになる人が増えていくと考